



証券コード:7840

フランスベッドホールディングス株式会社
平成23年3月期決算説明会

平成23年5月31日

<http://www.francebed-hd.co.jp/>



FRANCEBED HOLDINGS

I・平成23年3月期決算概況と平成24年3月期計画

II・主要セグメント情報

メディカルサービス事業

インテリア健康事業

III・中期的ビジョンを含む今後の主な取り組みについて

成長に向けての新商品・サービス

Ⅰ・平成23年3月期決算概況と 平成24年3月期計画

平成23年3月期連結業績概要

- 売上高はメディカルサービス事業は伸長するも、インテリア健康事業の不振により減少
- 利益面では販管費を抑制するも、売上の減少を補うことが出来ず減収

(百万円)

	平成22年3月期 (H21.4~H22.3)		平成23年3月期 (H22.4~H23.3)				前年 同期比 増減率	当初 計画 達成率
	実績	構成比	当初 計画	構成比	実績	構成比		
売上高	49,792	100.0%	50,600	100.0%	48,311	100.0%	△2.9%	95.4%
売上原価	27,772	55.7%	—	—	27,035	55.9%	+0.2P	—
売上総利益	22,019	44.2%	—	—	21,275	44.0%	△3.3%	—
販管費	21,299	42.7%	—	—	20,681	42.8%	△2.9%	—
営業利益	720	1.4%	1,800	3.6%	594	1.2%	△17.5%	33.0%
経常利益	644	1.2%	1,600	3.2%	545	1.1%	△15.3%	34.0%
当期純利益	263	0.5%	800	1.6%	235	0.4%	△10.6%	29.3%

■ 1株当たり当期純利益 1円3銭

平成23年3月期セグメント別業績概況

- **メディカルサービス事業は売上増加となるも費用増加により減益**
- **インテリア事業では売上減少となったものの販管費減少により赤字幅縮小**

(百万円)

		平成22年3月期		平成23年3月期				前年 同期比 増減率	当初 計画 達成率
		実績	構成比	当初 計画	構成比	実績	構成比		
メディカル サービス事業	売上高	20,438	41.0%	22,000	43.4%	21,664	44.8%	6.0%	98.4%
	営業利益	1,562	—	1,960	—	1,436	—	△8.0%	73.2%
インテリア 健康事業	売上高	18,343	36.8%	18,770	37.0%	16,322	33.7%	△11.0%	86.9%
	営業利益	△900	—	△630	—	△813	—	—	—
法人施設事業	売上高	6,486	13.0%	6,640	13.1%	6,472	13.3%	△0.2%	97.4%
	営業利益	186	—	210	—	77	—	△58.2%	36.6%
その他	売上高	4,524	9.0%	3,190	6.3%	3,851	7.9%	△14.8%	120.7%
	営業利益	△240	—	260	—	△205	—	—	—
消去または全体	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	113	—	—	—	98	—	△12.6%	—
合 計	売上高	49,792	100.0%	50,600	100.0%	48,311	100.0%	△2.9%	95.4%
	営業利益	720	—	1,800	—	594	—	△17.5%	33.0%

*1 売上高は、外部顧客に対する売上高となります。

連結貸借対照表

(百万円)

		平成22年 3月末	構成比	平成23年 3月末	構成比	増減額
資産の部	流動資産	32,669	54.8%	33,159	54.5%	490
	現金及び預金	9,280	15.5%	11,942	19.6%	2,661
	受取手形及び売掛金	9,156	15.3%	9,398	15.4%	241
	有価証券	2,999	5.0%	1,999	3.2%	△ 999
	たな卸資産	8,675	14.5%	7,545	12.4%	△ 1,130
	その他	2,557	4.2%	2,274	3.7%	△ 284
	固定資産	26,918	45.1%	27,532	45.3%	614
	有形固定資産	16,379	27.4%	16,451	27.0%	72
	無形固定資産	902	1.5%	1,392	2.2%	490
	投資その他の資産	9,636	16.1%	9,688	15.9%	52
資産合計		59,602	100.0%	60,739	100.0%	1,137
負債の部	流動負債	17,173	28.8%	14,319	23.5%	△ 2,854
	支払手形及び買掛金	5,202	8.7%	4,007	6.5%	△ 1,195
	短期借入金 ※1	6,275	10.5%	3,125	5.1%	△ 3,150
	固定負債	4,977	8.3%	9,462	15.5%	4,485
	長期借入金 ※2	1,000	1.6%	5,150	8.4%	4,150
負債合計		22,150	37.1%	23,781	39.1%	1,630
純資産の部	株主資本	37,481	62.8%	37,146	61.1%	△ 335
	評価・換算差額等	△29	—	△188	—	△ 159
	純資産合計	37,451	62.8%	36,958	60.8%	△ 493
	負債及び純資産合計	59,602	100.0%	60,739	100.0%	1,137

※1 一年内償還社債および一年内返済長期借入金を含む ※2 社債を含む

キャッシュ・フロー(CF)の状況

(百万円)

	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF	現金及び現金同等物換算差額	現金及び現金同等物増減額	現金及び現金同等物期末残高
平成22年3月期	4,191	△3,473	164	5	888	11,030
平成23年3月期	4,935	△3,292	716	△4	2,354	13,384

①連結CFの状況

現金及び現金同等物が前期比2,354百万円増加

②営業活動によるCFの状況

減価償却費3,420百万円の計上、たな卸資産の減少1,129百万円などにより、前期比743百万円増加

③投資活動によるCFの状況

有形固定資産の取得3,288百万円等により、3,292百万円の支出

④財務活動によるCFの状況

セール・アンド・リースバック1,672百万円による収入、リース債務の返済1,338百万円や長期借入金の返済225百万円、社債の償還775百万円、配当金の支払額568百万円などの支出により、計716百万円の収入

設備投資について

(百万円)

		平成23年3月期 通期実績	平成24年3月期 通期計画
設備 投資 額	レンタル資産(賃貸用資産・リース資産)	2,876	2,950
	生産設備	256	210
	事業所他	165	30
	システム関連投資	720	120
	その他	104	0
	合 計	4,121	3,310
減価償却費		3,420	3,920

主な設備投資実績および計画

平成23年3月期実績

- レンタル資産(賃貸用資産・リース資産):2,876百万円(メディカルサービス事業)
- システム関連投資:720百万円(メディカルサービス事業313百万円・インテリア健康事業297百万円、他)

平成24年3月期計画

- レンタル資産(賃貸用資産・リース資産):2,950百万円(メディカルサービス事業)

震災による平成23年3月期業績への影響

【資産等の損失】

内訳	特別損失額（百万円）
たな卸資産処分損、設備の現状回復費用等	67
貸倒引当金の繰入れ	20
その他	20

被災による第8期業績への影響額　：　107百万円
特別損失にて計上

震災による平成24年3月期業績への影響予測

- ・商品の生産・供給体制において、影響は軽微
- ・復興需要は不透明

平成24年3月期連結通期業績見通し

(百万円)

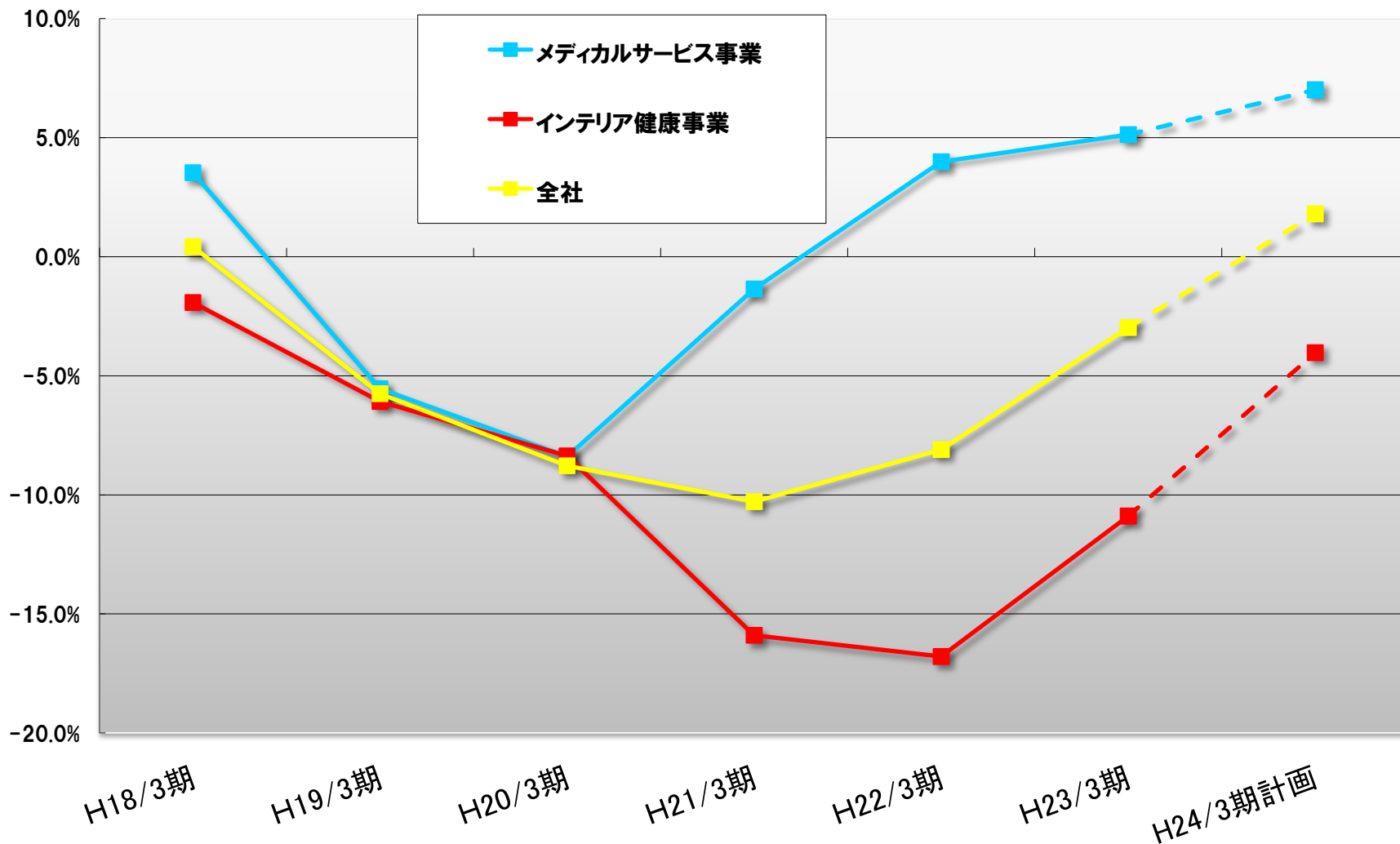
	平成23年 3月期 〔実績〕 (H22.4~H23.3)	平成24年 3月期 〔計画値〕 (H23.4~H24.3)	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	48,311	49,180	869	1.7%
営業利益	594	1,590	996	167.5%
経常利益	545	1,440	895	163.8%
当期純利益	235	690	455	193.2%

		平成23年 3月期〔実績〕 (H22.4~H23.3)	平成24年 3月期〔計画値〕 (H23.4~H24.3)	前年比 増減額	前年比 増減率
メディカルサービス事業	売上高	25,119	26,880	1,761	7.0%
	営業利益	1,500	1,560	60	4.0%
インテリア健康事業	売上高	19,340	18,560	△780	△4.0%
	営業利益	△799	△20	779	-
その他事業	売上高	3,851	3,740	△111	△2.8%
	営業利益	△205	20	225	-
消去または全社	売上高	-	-	-	-
	営業利益	98	30	△68	△69.3%
合 計	売上高	48,311	49,180	869	1.8%
	営業利益	594	1,590	996	167.6%

※平成23年3月期のセグメント別実績は推計値となります

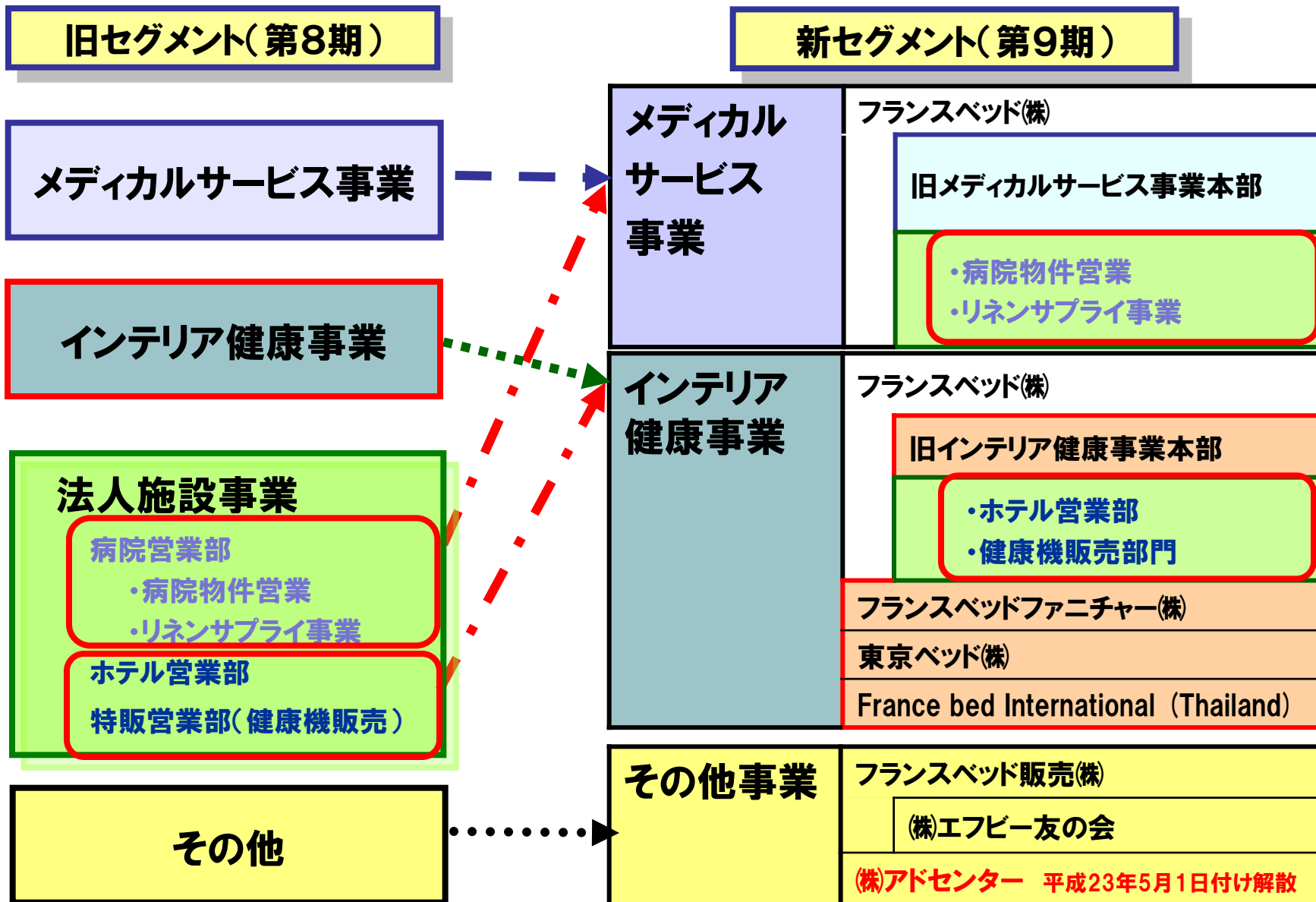
主要セグメントおよび全社における売上高前年比増減率の推移

【前年比増減率推移】



* セグメント実績は新セグメントに修正した推計値であります。

セグメントの変更



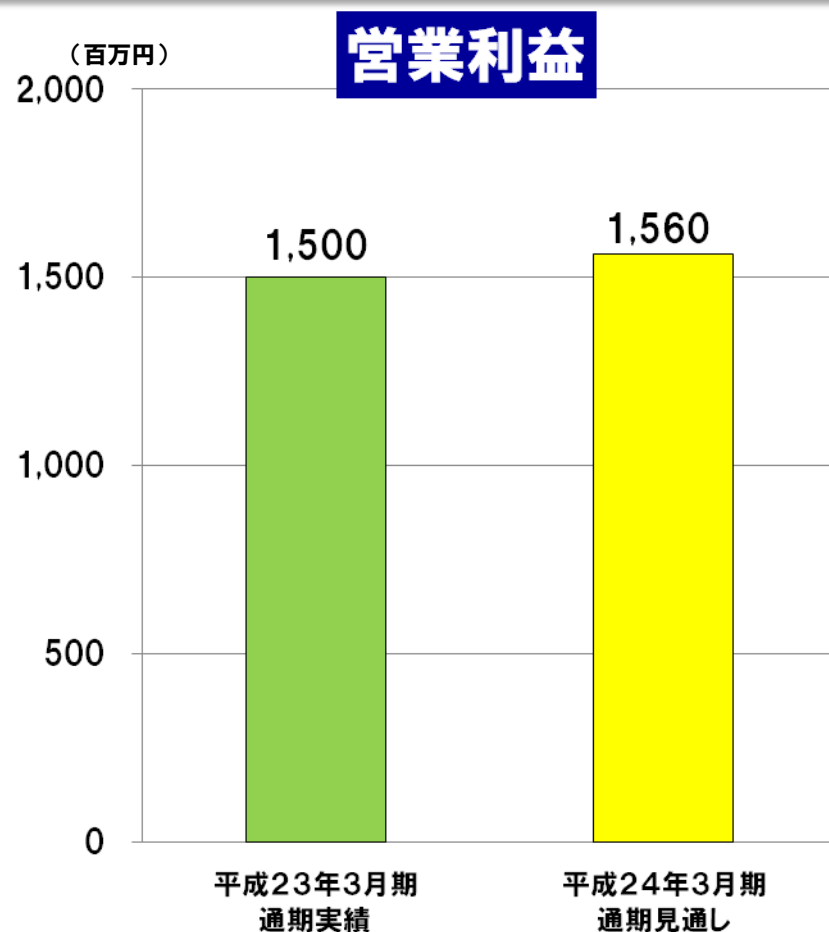
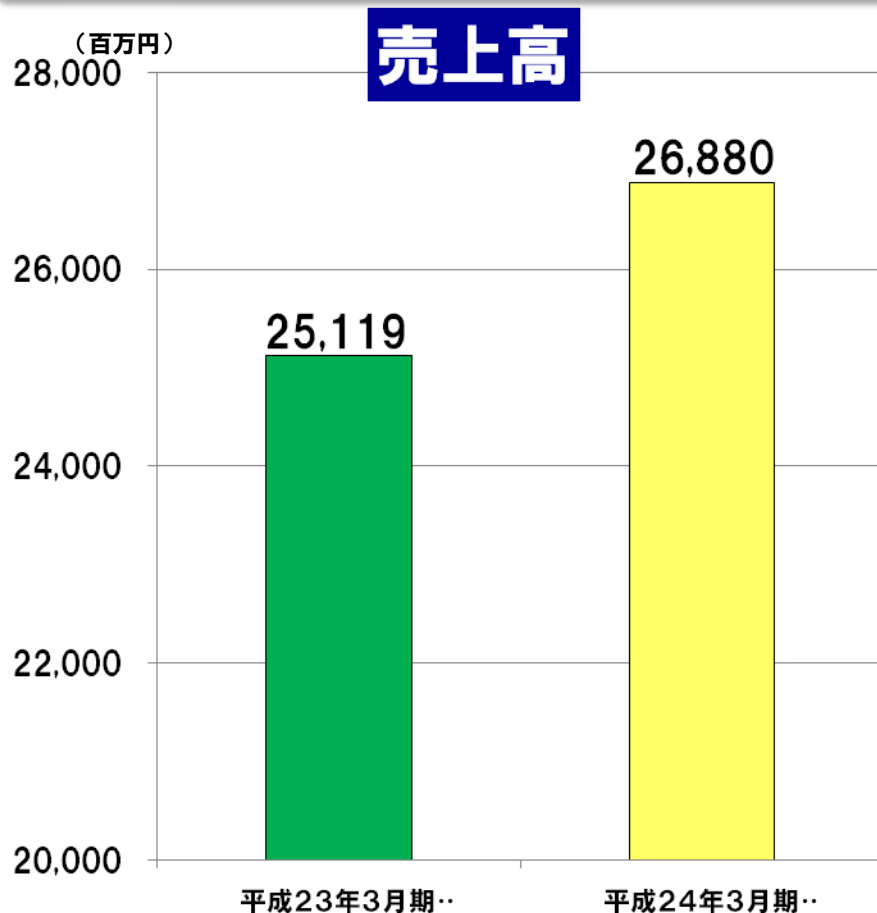
II・主要セグメント情報 メディカルサービス事業

メディカルサービス事業の通期業績見通し

平成24年3月期計画

売上高: 268億円 (対前年7.0%増)

営業利益: 15.6億円 (対前年4.0%増)



* 平成23年3月期のセグメント実績は前年比較用の推計値であります。

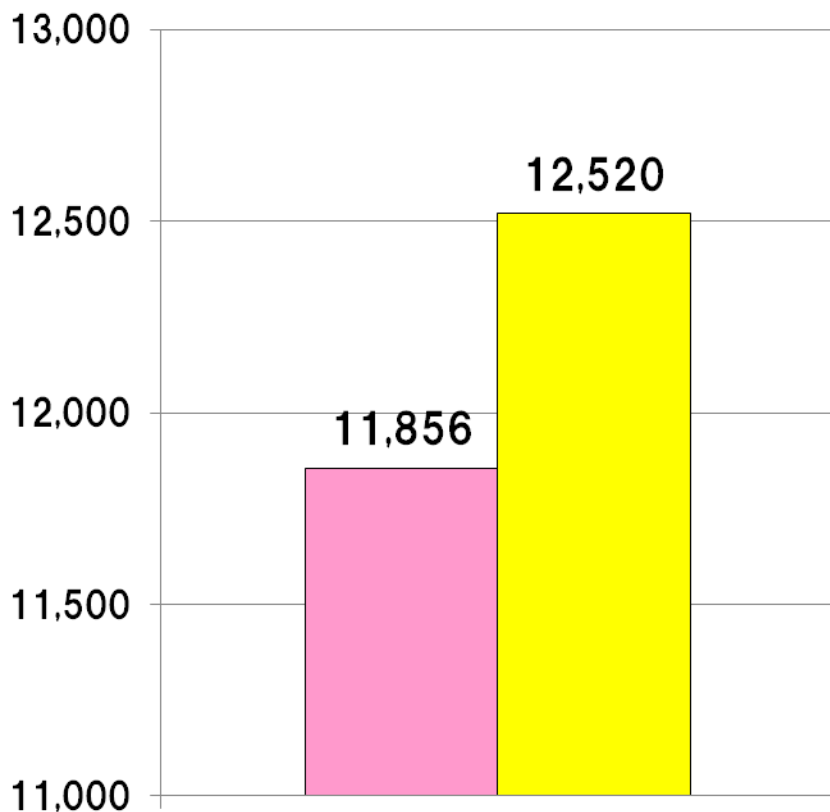
メディカルサービス事業の売上のうち「介護関連レンタル売上」と「病院・施設向け物件取引」の前年実績と当期計画との比較

平成24年3月期売上高計画

介護関連レンタル売上: 125億円 (対前年5.6%増)

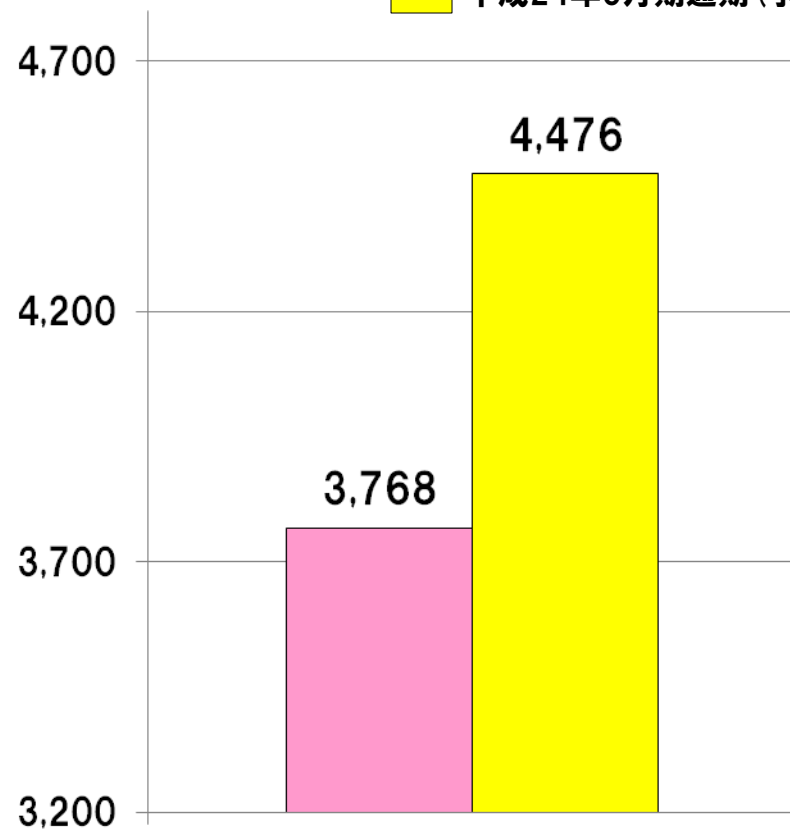
病院・施設向け物件取引: 44億円 (対前年18.8%増)

(売上高: 百万円)



介護関連レンタル売上

(売上高: 百万円)



病院・施設向け物件取引

* 平成23年3月期は前年比較用の推計値であります。

メディカルサービス事業の今期の取り組み

1. 営業力・組織体制の強化による介護関連レンタルの拡大

- ①人員増強(インテリア健康事業→メディカルサービス事業へ約40名強シフトした人員が戦力化)
- ②営業拠点を都市部を中心に6箇所増加。

2. 顧客獲得に向けた新たな施策

- ①軽度者向け低価格ベッド一般レンタルの展開
- ②主要3品目に加えて新型電動車いすなどの新商品の重点推進による中重度者獲得
- ③リハビリテーション機器等の販売推進による医療機関の新規開拓

3. 病院施設向け物件取引の拡大

- ①物件営業所を既存営業所内に新たに3箇所併設(計13箇所)
- ②全国物件営業所13箇所へ営業要員を増強(既存27名→17名増:計44名)
- ③新型病院ベッド等の新商品の開発、ならびに展開

II・主要セグメント情報 インテリア健康事業

インテリア健康事業の通期業績見通し

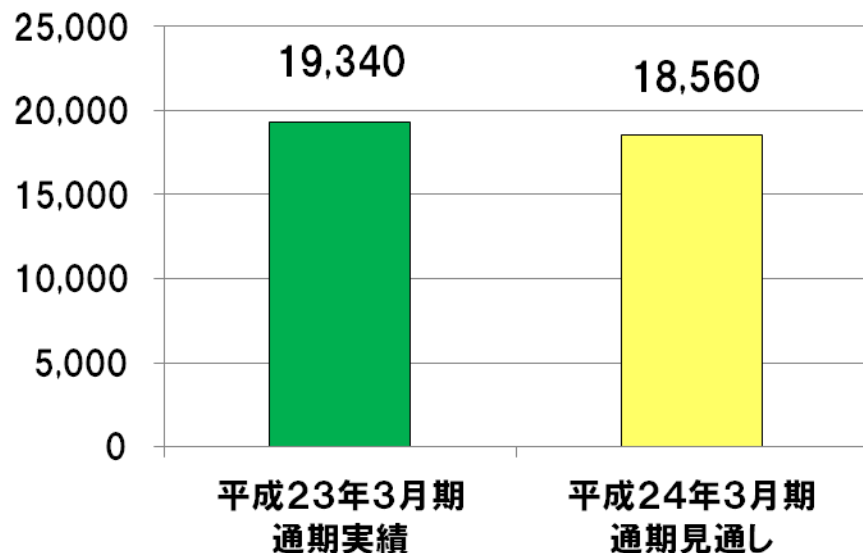
平成24年3月期計画

売上高: 18,560百万円

営業損益: $\Delta 20$ 百万円

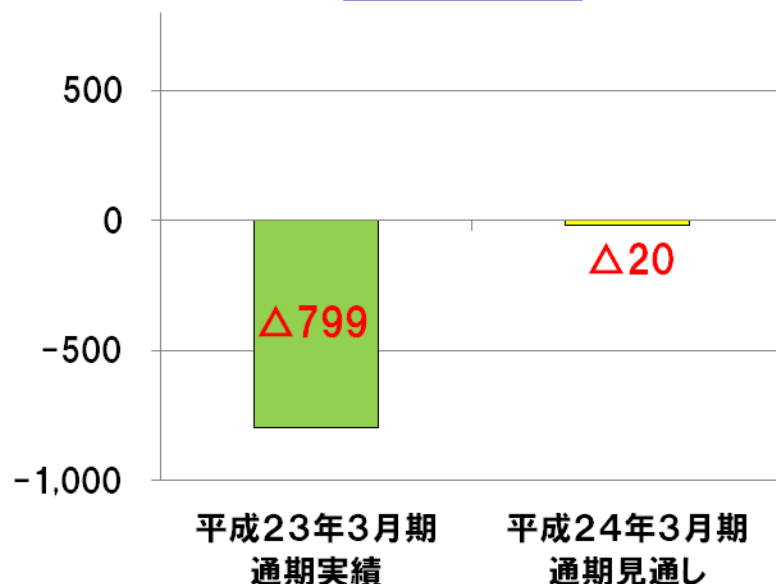
(百万円)

売上高



(百万円)

営業損益



* 平成23年3月期のセグメント実績は前年比較用の推計値であります。

売上高は前年度比マイナス4.0%の減収

営業損失は前年比779百万円減少

- ①売上粗利率の改善・売上原価率の引き下げ
- ②人件費を中心とした販売管理費の削減

インテリア健康事業の今期の取組み

1. 高粗利、高単価商品の販売拡充

中高級ベッドの販売に注力し、売上総利益率の改善を図る。
(物流体制の見直しと合わせて前期比1.8ポイントの改善を見込む)

2. 高齢者向け新商品・新企画の導入

当社グループが保有する家具店販売網に働きかけを行い、高齢者向けコーナーである「アクティブシニアコーナー」などを店内に設置してもらい、高齢者向け商品を体感してもらいながら販売につなげる。

3. ハウジング業界等への売上拡大

家具店以外の新たなチャネル(通販ショップやハウジング業界、高齢者専用住宅等)の開拓

4. 費用削減策

- ・前期までにメディカルサービス部門へ人員を異動したことなどによる人件費及び経費の削減
- ・不採算ショールームの閉鎖による費用の削減

III・中期的ビジョンを含む今後の主な取組みについて

中期的な取り組み

① 合併した中核子会社の組織統合による統合効果の顕在化

- ・メディカルサービス事業の「2ケタ成長」を目指す
- ・高齢者向け商品の家具店ルートでの販売

② 商品開発力の強化

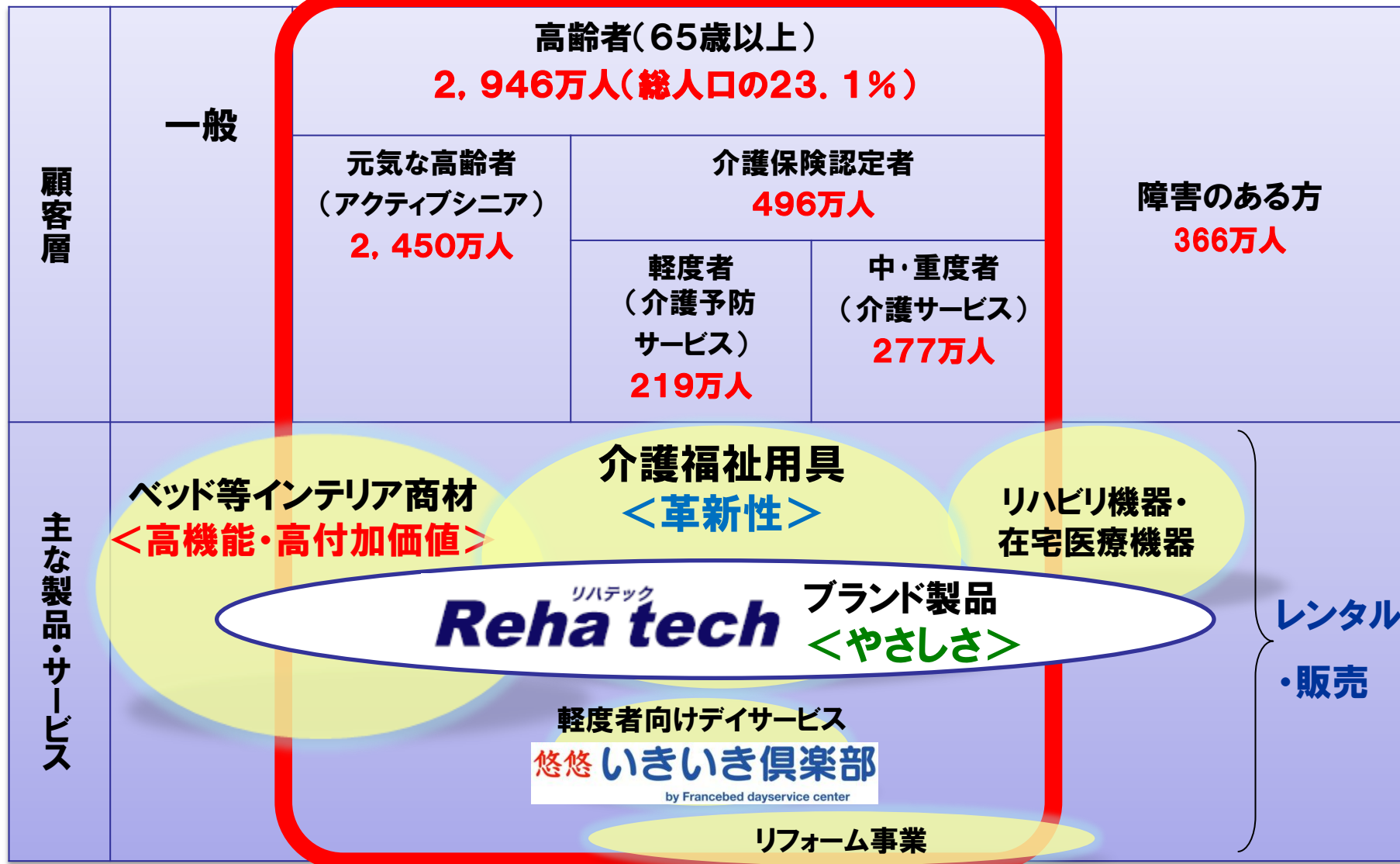
- ・高齢者向け商品
- ・リハビリテーション機器
- ・高付加価値商品
- ・リハテックブランドの確立

③ 海外事業の強化

- ・海外調達比率を高めることによるコストダウン
(調達比率を26%から40%に引き上げる)
- ・海外輸出事業の拡大 (アジアにおける医療・介護福祉用具の輸出)

中期的ビジョン(事業領域と主な商品・サービス)

■個人向け商品・サービス



Ⅲ・中期的ビジョンを含む今後の主な取組みについて 成長に向けての新商品・サービス

「人にやさしい」モノづくりから生まれた新ブランド

リハテック
Reha tech

成長に向けての新ブランド

リハテック **Reha tech** とは？

日常生活活動(ADL)の向上を目指した「人にやさしい」モノづくりから生まれた新ブランド、それが「Reha tech」(リハテック)です。



「Reha tech」(リハテック)とは、リハビリテーション及びテクノロジーからの造語で、フランスベッドの商品開発理念である「人にやさしい」商品による新ブランドです。

自分らしく暮らすために、活動範囲の拡大、自立生活の回復などをサポートする商品を、リハテックと位置づけております。

このリハテックブランドでは、アクティブシニアと呼ばれる方々を対象とし、健康に気を使い、毎日楽しく快適に過ごしたい人の為の商品を提供して参ります。

また、日常生活活動(ADL)の向上を図る上で役立つような商品から、片麻痺になられた方が家庭や社会復帰に向けて取り組みやすい商品などまで、工夫された今までにない価値ある商品づくりを目指します。

リハテック
Reha tech

一部展開中
販売目標 1億円/年間

《電動アシスト三輪自転車》三輪自転車(アシスト無)

- ◇ 地域限定にて展開をしておりました「電動アシスト三輪自転車」の全国展開を開始いたします。
- ◇ アシスト機能を省略した、「三輪自転車」も投入予定。
- ◇ 日本、台湾、韓国に特許出願中。(トーションバー装着)(静岡工場製=MADE in JAPAN)
 - ・ 道路交通法に合致した、型式認定の取得。
 - ・ 価格を抑えたアシスト無 商材も投入をさせていただきます。
 - ・ 日本の使用条件に合わせた「フランスベッドオリジナル」の商品となっています。



電動アシスト三輪自転車



三輪自転車(アシスト無)

- ◇ アシスト三輪
4月 全国にて販売
- ◇ 三輪自転車
6月 展開予定

成長に向けての新ブランド商品

リハテック
Reha tech

《電動四輪車いす》



車いすの機動性とコンパクトさ



シニアカーの快適性



使い易い
ジョイスティック

電磁
ブレーキ



コンパクト
設計

アームレスト
跳ね上げ式

電動車いす P320
ちよいぼる♪

6月展開予定
レンタル目標(自走式) 1,000台/年間
レンタル目標(介助式) 300台/年間

介護保険適用商品

◇道路交通法に基づいた
型式認定を取得

- ・ 国家公安委員会による型式認定試験に合格
- ・ 「優しく・安心・安全」な乗り物です。
- ・ アームレストが背部まで上がるので乗り降りがし易いです。
- ・ シートも回転し、乗降が非常に安心です。
- ・ 自走式、介助式の2種類展開いたします。

リハテック
Reha tech

《機能 車いすシリーズ》

10月展開予定

◇ 自動ブレーキ装置付き車いす

介護保険適用 予定商品

【商品特徴】

車いすからの立ち上がり時に
自動的にブレーキがかかり転倒を防止します。



◇ 横移動車いす

介護保険適用 予定商品

【商品特徴】

- ・ 斜めや横にも自由自在に動ける自走用の車いす。
- ・ 後輪はリリース機能付きなので、狭い場所でも使用可能。

成長に向けての新商品

リハビリテーションシステム バイオネス



脳卒中患者:136万人
(年間に25万人増)
全国のリハビリテーション病棟のある病院
950箇所

リハビリテーションにおいて、回復の可能性を飛躍的に高め、患者と医者、療法士、それぞれの効率を上げ、負担を軽減します。

NESS H200®



NESS® L300™



リハビリテーションに新たな可能性
リハビリ施設のある病院等にて販
売およびレンタルを行う。

高機能・高付加価値

高機能・高付加価値

冷却・温熱機能付きパッド

れい だん し き

冷暖四季パッド

ウォーターサイクル



水のチカラで、夏は涼しく冬は暖かく
一年中お使いいただける四季パッド

夏冬節電対策商品

「省エネ」効果抜群!

夏も冬もこれ1枚でOK。

電気料金が
夏は約 $\frac{1}{4}$ 冬は約 $\frac{1}{10}$

■エアコンとの電気料金比較	
夏	100w → 18円/日 540円/月 
	390w → 69円/日 2,070円/月 
冬	33w → 7円/日 210円/月 
	415w → 73円/日 2,190円/月 

自然な涼しさ・暖かさだから、
人に優しい敷パッド。

パッド内に埋め込んだシリコンチューブに水を通し
その水の温度を調節して、夏は涼しく冬は暖かく
理想的な床内温度をつくり出します。

水のチカラで、優しく冷やして優しく暖める…

夏のエアコンや扇風機が苦手な方や
冬の暖房機具による乾燥が気になる方におすすめします。

7月上旬展開予定
販売目標 1億円/年間

《スランバーランド新モデル追加》

展開中
全体売上目標 1億2千万円/年間

◇スランバーランドは英国王室御用達の
栄誉を受けた由緒正しいブランドです。



ポスチャース
プリンギング
の2段構造

フィット感、
クッション性、
耐久性を兼ね
備えている

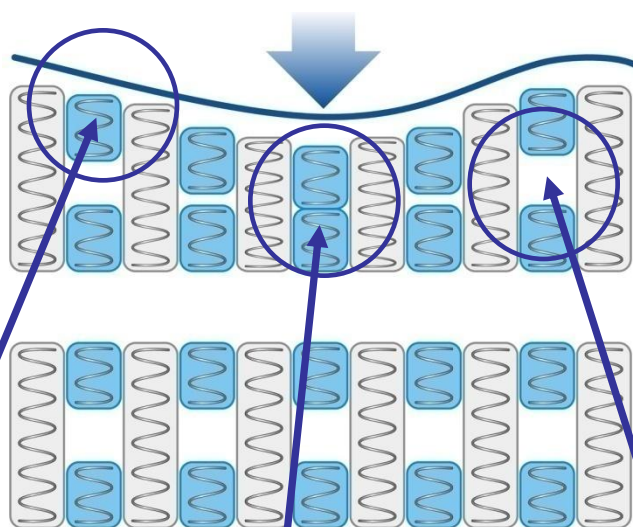
通常の1.5~
2倍のスプリ
ング数を採用

商品ライン
ナップの充実

《エアーススペンションマットレス》

7月展開予定
3000本/年間

◇スプリングのユニット構造がサスペンションの役割をする新しいスタイルのマットレスです。



上から柔らか
タッチ

途中で
しっかりサ
ポート

高い
通気性



オーバートップタイプ



標準タイプ

革新性

《背上げらくベッド(エアマットレス)》

8月展開予定
レンタル目標 100台/年間

◇背上げ時の身体のズレによる違和感と腹部への圧迫感を和らげる背上げらくベッドに、**エアマット仕様が登場。**

エアマットレスの特長

- ・体圧を分散し床ずれの予防
- ・中・重度者向けマットレス
- ・介護者の負担軽減



背上げらくベッドの特長

- ・背上げ時の腹部圧迫を軽減（誤嚥性肺炎の予防）
- ・背上げ時の「背抜き」が不要
- ・介護者の負担軽減



開発中商材



背上げらくベッド

成長に向けてのサービス

成長に向けてのサービス

介護予防サービスに特化したデイサービス事業の拡大

悠悠いきいき倶楽部

by Francebed dayservice center

- ・当社のファン作り、ブランド力向上
- ・FC展開による家具店の活性化
- ・将来のメディカルサービス事業代理店獲得に向けての布石

2011年3月末現在(直営 4店舗・FC 1店舗)

所在地	時期	運営形態		特徴
		直営	FC	
東京都調布市	平成22年2月開設	●		調布1号店
名古屋市緑区	平成22年8月開設	●		イオンショッピングセンター内
大阪府枚方市	平成22年10月開設	●		デイサービス・介護ショップ併設
長野県塩尻市	平成22年11月開設		●	FC1号店(丸屋家具)
長野県長野市	平成23年1月開設	●		デイサービス・介護ショップ併設

下記は2011年4月以降新規開設

名古屋市緑区	平成23年4月開設		●	FC2号店
東京都昭島市	平成23年7月頃の予定		●	FC3号店
横浜市都筑区	平成23年8月頃の予定		●	FC4号店

その他北海道・山形県・岐阜県・高知県など各地で現在調整中

要支援1~2向けサービス

介護保険適用



高齢社会に向けた成長戦略

■現在の当社のインテリア健康事業を取り巻く状況

輸入品の増加、大手家具店の寡占化の進行による価格下落

ライフスタイルの変化、少子高齢化による国内家具市場の縮小



中堅家具店(特に地方)の弱体化により当社の売上も減少

今後は・・・

当社グループが保有するメディカルサービス事業のノウハウを活用して、全国の家具店を高齢者向けビジネスの拠点として活性化し、当社とともに成長を目指す。

■主な取り組み

- ①「悠悠いきいき倶楽部」のFC店への参加
- ②店内に「アクティブシニアコーナー」や「助さんたくさんコーナー」を設置して、当社が開発する高齢者向け商品を(試乗)販売する
- ③介護福祉用具レンタル事業への参入(当社の代理店化)を促す



質疑応答

（問合せ先）

総務室長 原田正裕 Email: ir@francebed-hd.co.jp
広報課 黒須和伸 同上

（将来見通しに関する注意事項）

本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。
また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力